

【高2生の模試受験】

皆さん、こんにちは。Z会進路指導担当の富崎です。

早いもので長かった夏休みも終わり、2学期を迎えようとしています。部活では、3年生の先輩方が引退となり、環境に変化が生じてくる時期でもあります。

大学受験に目を向けると、この夏の間にオープンキャンパスに参加したり、大学案内を取り寄せたりして、将来の志望が徐々に固まりだしているころではないでしょうか。

そうすると次に気になるのは、今の自身の学力が志望校に対してどの程度なのか、ということでしょう。そこで今回は、高2生の模試受験について述べたいと思います。

■高2模試の性質と活用法

高1や高2の1学期に模試を受けている方はご存じの通り、基本は英数国3教科の受験となります。実際の大学入試では、英数国といった受験パターンの大学・学部は限られるので、この形式では多くの大学の合格判定を正確に出すことは難しいと言えます。よって、普段勉強している主要三教科の学力がどの程度身についているのかを図るのが主目的で、合格判定は二の次となります。

また実際の大学受験とは異なり、浪人生は受験していないので、問題レベルや受験者層も、受験生用の模試よりは抑えられています。し

たがって、模試成績の捉え方としては、偏差値の低い科目・分野がどこか、つまり苦手分野を発見するのが第一目的となるでしょう。あわせて、偏差値の高い得意科目・分野であっても、高2時点では過信は禁物となります。

この時期の合格判定はそれほど気にしなくて良いですが、模試は受けっぱなしで良いということではありません。成績表が返ってきた後は、各科目どの分野が今後の課題となっているかを見極め、即座にそのための学習対策を練りましょう。「今回はたまたま悪かったけど、そのうち何とかなるだろう」というスタンスでは、受験学年次に大きく出遅れることになります。

■模試の種類

模試はその種類によって、難易度がかなり異なります。多くの学校で採用されているのは、河合塾主催の「全統記述模試」、駿台主催「駿台全国模試」、Z会駿台共催「高2アドバンスト」ですが、これらはレベルにやや乖離があり、河合全統よりも駿台全国の方が高難度となっています。さらに高2アドバンストでは、駿台全国よりも受験者層がやや高くなっています。河合全統模試で偏差値70を超えていても、駿台全国もしくは高2アドバンストの方を受験したら、偏差値がガクッと下がってしまったということもよくあります。

【具体事例】2024年東大理科二類合格者の高2成績

	英語		数学		国語	
	得点	偏差値	得点	偏差値	得点	偏差値
高2河合全統	176	76.1	172	68.0	122	64.5
高2アドバンス	145	67.4	125	63.0	111	60.3

東大や一橋・東科大、首都圏国公立医学部等、出題レベルの高い大学を目指す方は、河合模試の方で高偏差値だからと油断せず、さらにハイレベルな駿台全国模試や高2アドバンスの方でも、同様に結果を出せるか図ってみると良いでしょう。

■理科地歴のスタート

さきほど、高1、2生の模試は英数国と言いましたが、後半からは理科地歴も受験できるようになります。具体的には以下の模試が該当します。

Z会・駿台共催「高2アドバンス」 実施基準日:11月3日(日)

河合塾「全統記述高2模試」 実施基準日:2025年1月26日(日)

駿台「第3回高2駿台全国模試」 実施基準日:2025年2月9日(日)

1学期に実施した「高2ガイダンス」でもお伝えしていますが、受験学年の5月時点で、理科地歴は合格者と不合格者間で、すでに得点差がかなりついています。したがって、高2のうちから理科地歴の学習を計画的に進めていく必要があります。英数国に加えて、高2後半からは理科地歴の学力も客観的に図っていくことが重要です。

ちなみに、上記の「高2アドバンスト」および「第3回駿台全国模試」は今年、Z会の教室でも実施します。9月に入り次第、高2生皆さんにご案内していきます。

■まとめ

高2生後半からは、皆と同じように、日々コツコツと勉強するということ以上に、自分自身の課題に即したより具体的・多角的な勉強が求められます。そのきっかけとして、自身の学力を客観的に評価する模試受験は大きな意味を持ちます。Z会では、模試結果を踏まえた学習相談も随時行っているなので、もし迷うようであれば、成績の良し悪しに関わらず、相談に来てください。

「彼を知らず、己を知らざれば戦うごとに必ず敗る」

↓

「彼を知り、己を知れば百戦殆からず」 (孫子)